

6月1回からは

その野菜に合った仕分けを、個人別で



「規格違いで2種類あって、注文していない方を間違って持って帰ったことがあるわ」「タ方の班なので、外が暗くなると、請求明細が見えにくくて分けにくかったのよ」など、困っている声があった「農産品の、別別仕分け」。

「規格違いで2種類あって、注文していない方を間違って持って帰ったことがあるわ」「タ方の班なので、外が暗くなると、請求明細が見えにくくて分けにくかったのよ」など、困っている声があった「農産品の、別別仕分け」。

＜今回の変更でこんなことが良くなります＞

- ① 物流センター入荷から班に届くまで、商品に適した温度帯で管理されるので、商品温度の変化が少なく、傷みにくくなります。
- ② 班での荷分けの手間が減り、商品の取り間違いが無くなります。
- ③ 今までベジタブルセンターで加工や袋詰めされていたものは、その日の夜間に仕分けされ、翌日の配送で届けられるので1日早くなります。(今までは加工した翌日午前に仕分け)
- ④ 野菜の袋が不要になり、少しゴミが減量になります。

6月1回からは 冷蔵の個人別仕分けに 野菜が入ります



例えば、茄子の漬物・牛乳・ミニトマト・ブロッコリー・レタス…が同じ袋に入って個人の名前シールがついて届きます。

バナナに適した温度帯でお届けしています



枚方物流センター・パン担当
北原さん

バナナの仕分けを行なっている、パン作業担当の方にお聞きしました。

5月1回からバナナをパンの個人別仕分けの袋に入れていきます。気温が上がってきたこともあり、やや青めのバナナでお届け



5月1回から始まった
バナナの個人別仕分け

していますが、組合員さんが召し上がる頃には、自然に熟します。重たいバナナでパンを漬さないように、一番最後に手でパンを持ち上げて仕分けして入れています。商品に合った温度帯で注意して取り扱うようになっています。

東北の芋煮を作って、食べてもらって震災復興支援を

～なにわ人形芝居フェスティバル 天王寺区逢坂・下寺町界限 4月1日～



復興を願って
鐘が鳴らされました

バルコブも協賛して、光傳寺の境内を会場に震災復興支援のブースを出展した「第16回なにわ人形芝居フェスティバル」。天王寺地域の組合員さんと組合員活動委員会が協力し、芋煮作りや震災復興支援グッズの販売を行ないました。

14時46分には震災復興のイベントとして、追悼の鐘打ち。会場の西照寺の正木住職は「にぎやかな時でも被災地を忘れないでおこうと鐘を叩かせてもらいました」とおっしゃっていました。



前列左が中橋さん、
左から3番目が飯坂さん

大阪府生協連主催 ボランティアバス参加者募集 ～もう1度行きたいという方もご応募ください～

大阪府生協連が主催する2012年度のボランティアバスの運行を行うことになりました。バルコブでも、以下の要領で案内します。

※このボランティアはバルコブ主催の年12回のボランティアバスとは内容・日程などが異なります。

参加対象

- ・バルコブの組合員またはその家族(18歳以上)
- ・事前のボランティア説明会に参加できる方

7月1日(日) 14:00～16:00 大阪社会福祉会館4階403
下記の申し込み先に、6月27日までに「ハガキ」「FAX」
「ホームページ専用フォーム」にて直接申し込みください

日程

- 各回とも初日18:30集合・帰着9:00の3泊4日(車中2泊)、現地活動日は2日間、移動はバスです。
- ①7月12日(木)～15日(日) ②8月23日(木)～26日(日)
- ③9月27日(木)～30日(日) ④10月25日(木)～28日(日)

行き先

宮城県・岩手県を予定

募集人数

各回30人

参加費

5,000円(昼弁当2日分と宿舍での夕食・朝食に相当)+ボランティア保険700円(未加入者)バス代と宿舍代は不要

【問い合わせ・申し込み】

説明会参加締め切り: 6月27日(水)
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館内 大阪府生協同組合連合会
☎06-6762-7220 FAX 06-6762-7296

詳しくは大阪府生協連ホームページに掲載しています(パソコン専用)
http://www.osaka-union.coop/



NO.14

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地では連休初日から「自分の目で復興の様子を見たい」と、他府県ナンバーの車が多く訪れ、「復興につながるツアーは歓迎」と話されています。また、がれきが除かれた一面土色の市街地の道路脇には、「心を優しくしてくれる花壇も色鮮やかになってきました。

皆さんからの募金をもとに、支援物資のお届けに留まらず、この春からは「地域のコミュニティ」づくりが盛んになっています。例えば、まごころネットから1万人を超えるボランティアが参加した「泥に埋まった冷凍魚拾い」後にできた、「ふれあい広場」(陸前高田市上長部地区)の畑ではムギや芋、室内ではお母さん方の手芸品やおやつ作り。また近くの仮設グラウンドではゲートボールや、運動場がなくなった子どもたちが野球など...このような形で、仮設住宅の方と元々の住民の方たちとボランティアと一緒に集い、元気づくりをしています。スタートした組合員さんのボランティアバスや、ご家族の観光でぜひ東北にお越しください。現地でありのままの姿を見ていただき、お話などを聞いていただけたらと思います。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
バルコブボランティア事務局・林さんより)

「遠野まごころネット募金」にご協力ありがとうございます

バルコブでは累計1,934万1,231円をお預かりしています
(2012年4月20日現在)
ひきつづき、募金にご協力をお願いします

*第1回岩手ボランティアバスの活動報告と、7・8月分(第4回・5回・6回)の募集は次号61号でご案内します。②